

**USER'S
MANUAL**

FAST ETHERNET ADAPTER

FW-100TX

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USERS MANUAL

FAST ETHERNET ADAPTER

FW-100TX

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

◆ 必ずお読みください ◆

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

◆ ご使用方法 ◆

第2章 アダプタのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順について説明します。

第3章～第5章 ドライバインストール

本製品を使用するためのドライバインストール手順を説明します。ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読みください。



第3章
Windows 98



第4章
Windows Me



第5章
Windows 2000

第6章 診断ユーティリティ

本製品を診断するための診断ユーティリティの使用方法について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B ネットワーク設定

Windows95/98のネットワーク設定について説明します。

付録C Linuxでの設定方法

本製品をLinux上で使うときの設定方法です。

付録D 仕様

本製品の仕様について説明します

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Version 2.0

目次

本製品を安全にお使いいただくために	3
第1章 はじめに	
1.概要	8
2.特長	9
3.各部の名称	9
4.梱包内容の確認	10
5.付属ドライバ・ディスクの内容	11
第2章 アダプタのインストール	
1.コンピュータへの取り付け	12
2.ネットワークへの接続	13
3.ネットワーク・ケーブルについて	14
第3章 Windows 98へのインストール	
1.Windows 98へのインストール	16
2.インストールの確認	21
3.ドライバの削除方法	25
4.通信速度の設定	27
第4章 Windows Meへのインストール	
1.Windows Meへのインストール	30
2.インストールの確認	35
3.ドライバの削除方法	39
4.通信速度の設定	41
第5章 Windows 2000へのインストール	
1.ドライバのインストール	44
2.インストールの確認	52
3.ドライバの削除方法	55
4.通信速度の設定	60
第6章 診断ユーティリティ	
1.診断ユーティリティ実行の準備	62
2.診断ユーティリティの実行	64

付録A	トラブルシューティング	72
付録B	ネットワーク設定	
	1.Windows 95/98/Meでのネットワーク設定	76
	2.NetBEUIを使用したネットワークの設定	78
	3.TCP/IPを使用したネットワークの設定	80
	4.ユーザー情報の設定	84
付録C	Linuxへのインストール	88
付録D	仕様	92

※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

1. 概要

本製品はPCIバス・スロットをもつIBM PC/AT互換コンピュータ、NEC PC-98NXシリーズ/PC-9821シリーズ上で使用可能なバスマスタ・タイプの32ビットPCI Fast Ethernetアダプタです。IEEE 802.3u 100BASE-TX、IEEE802.3 10BASE-TおよびPCI Rev.2.1に準拠し、ネットワーク上での伝送速度は100Mbpsおよび10Mbpsです。100BASE-TX Fast Ethernetまたは10Base-T Ethernetネットワークに接続するためのRJ-45 STPポートを装備します。またAutonegotiation機能に対応しており、Autonegotiation機能対応のハブに接続すると接続タイプ(10/100Mbps、全二重/半二重)を自動的に検出します。本製品は、従来のNICでは対応できなかった全二重でのフローコントロール(IEEE802.3x)にも対応できます。これにより、IEEE 802.3xフローコントロールに対応したスイッチングハブと接続して使用すれば、全二重でのフローコントロールが実行できパケットロスを抑制します。

PCIバス・アダプタである本製品はジャンパレスです。I/Oベース・アドレスやIRQといったすべてのリソースは、ブート時にシステムによって自動的に割り当てられます。

2. 特長

32ビットPCIバスマスタ・モードをサポート

PCI Rev.2.1準拠

イーサネットコントローラにRealtek社のRTL8139Cを装備、広範囲なネットワークOSに対応

Full-Duplex機能をサポート。10BASE-T Ethernet上で20Mbps、また100BASE-TX Fast Ethernet上で200Mbpsの速度を実現
ネットワーク・ステータスを示すLEDインディケータを装備

Autonegotiation機能に対応、接続タイプを自動検出
(10/100Mbps、全二重/半二重)

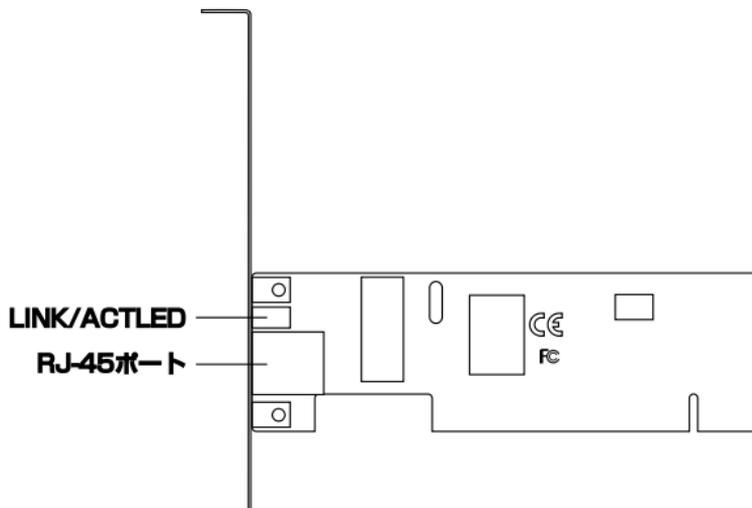
全二重通信時、IEEE802.3xフローコントロールに対応

アダプタ構成の表示 / アダプタ診断テスト・ユーティリティ

⚠ 注意

NEC PC-9821シリーズは、Windows 98/95、Windows NT3.51/4.00のみのサポートとなります。

3. 各部の名称



本製品は図に示されるような2つのLEDインディケータを備えています。

<LINK ACT> リンク/アクティブ

このインディケータが点灯しているとき、適切なデータ・リンクがあることを意味します。点滅している場合はアダプタがデータの送受信を行っていることを意味します。

4. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

FW-100TXイーサネットアダプタ
ドライバ・ディスク 1枚
このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

5. 付属ドライバ・ディスクの内容

付属のドライバ・ディスクのディレクトリ構成は次のようになっています。各ドライバのインストール方法はディスク中のREADMEファイルを参照してください。

¥FREEBSD

¥2.2 FREEBSD2.2ドライバ説明ファイル

¥3.0 FREEBSD3.0ドライバ説明ファイル

¥LINUX LINUXドライバ説明ファイル

¥NETWARE

¥ODI NetWare ODIクライアントドライバ

¥NW311 NetWare3.11サーバ

¥NW312 NetWare3.12サーバ

¥NW4X NetWare4.Xサーバ

¥WIN95 Windows95ドライバ説明ファイル

¥WIN98 Windows98ドライバ説明ファイル

¥WINME WindowsMeドライバ説明ファイル

¥WIN2K Windows2000ドライバ説明ファイル

¥WINNT WindowsNT3.51/4.0ドライバ説明ファイル

¥WFW311 Windows for Workgroup3.11ドライバ

¥NDIS2 NDIS2.0ドライバ説明ファイル

¥DOS IBM DOS LAN Servicesドライバ

¥OS2 IBM OS/2 LAN Server 4.0ドライバ

¥MSLANMAN.DOS LAN MANAGER NDIS2.0 DOSドライバ

¥PKTDRV パケットドライバ

SETUP.EXE 診断プログラム

アダプタのインストール

本章では本製品のコンピュータへのインストレーション方法およびネットワーク・ケーブルの接続について説明します。

本製品はPCIバス・デバイスなので、インストレーション後にデバイスの構成を行う必要がありません。システムがI/Oベース・アドレスやIRQといったリソースをブート時に自動的に割り当てます。

1. コンピュータへの取り付け

⚠ 注意

取り付けを開始する前に本製品が静電気で破損しないように、コンピュータのシャーシの金属部分を触るなどしてあらかじめ体内の静電気を放電しておいてください。また静電気を放電した後も、常にボードの端を持つようにし、ボード上の部品や金色の端子部分（エッジコネクタ）には触れないようにしてください。

1. コンピュータの電源を切ってください。
2. コンピュータのマニュアルを参照し、コンピュータのカバーを取り外してください。
3. 空いているバスマスタ対応のPCIスロットを確認しカバーを取り外してください。
4. 本製品をPCIスロットに挿入してください。
5. カバーを固定していたネジで本製品をスロットに固定してください。
6. システムに複数のアダプタを取り付ける場合は、手順3～5を繰り返してください。
7. コンピュータのカバーを取り付けてください。

2. ネットワークへの接続

本製品は100BASE-TX/10BASE-Tネットワークへの接続用にRJ-45 STPポートを装備しています。接続についての詳細は以下のセクションを参照してください。

100BASE-TX Fast Ethernetネットワークへの接続

本製品を100BASE-TX Fast Ethernetネットワークに接続するには、両端にRJ-45コネクタの付いたツイストペアCategory 5以上のストレートケーブルが必要です。ケーブルの最大長は100メートルです。以下の手順にしたがって接続してください。

1. ケーブルの一端を本製品のRJ-45ポートに差し込みます。
2. ケーブルのもう一端を100BASE-TX Fast Ethernetハブに差し込みます。

10BASE-T Ethernetネットワークへの接続

本製品を10BASE-T Ethernetネットワークに接続するには、両端にRJ-45コネクタの付いたツイストペアCategory 3または5以上のストレートケーブルが必要です。ケーブルの最大長は100メートルです。以下の手順にしたがって接続してください。

1. ケーブルの一端を本製品のRJ-45ポートに差し込みます。
2. ケーブルのもう一端を10BASE-T Ethernetハブに差し込みます。

3. ネットワーク・ケーブルについて

100Mbpsでのネットワーク操作を確実にするには、ツイストペア Category 5以上のケーブルを使用する必要があります。

10Mbpsでのネットワーク操作には、ツイストペア Category 3以上のケーブルを使用してください。

本製品をハブに接続する場合は、ストレートタイプのツイストペア・ケーブルを使用してください。

ハブを使用せずに2台のコンピュータを直接接続する場合は、クロス・ケーブルを使用してください。

Windows 98へのインストール

本ここでは、本製品をWindows 98/Windows 98 Second Editionで使用する場合のドライバのインストール方法および詳細設定の方法について説明します。

1. Windows98へのインストール

- 1.本製品をコンピュータにセットし、コンピュータの電源を入れてください。
- 2.Windows 98起動時に本製品が自動的に「PCI Ethernet Controller」として認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



3. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



4. 検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、「検索場所の指定」のみをチェックし、他の項目からはチェックを外してください。検索場所に A:¥WIN98 と入力してください。



5. 本製品付属のドライバディスクをフロッピードライブにセットし、[次へ]ボタンをクリックしてください。
6. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



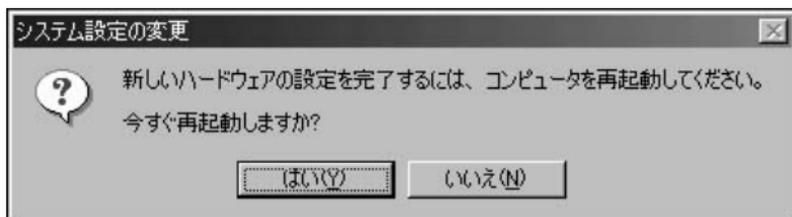
- 7 ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に、“NET RTS5.INF” “RTL8139.SYS” のいずれかが要求された場合はディレクトリ名を A:¥WIN98 と指定してください。それ以外のWindows 98 CD-ROM上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、Windows 98の CD-ROM をセットし、ディレクトリ名を入力してください。(例：CD-ROMドライブがEドライブの場合は e : ¥win98 と入力します。またWindows 98プリインストールのコンピュータではc : ¥windows¥options¥cabsと入力します。)



- 8 しばらくすると「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。ここで[完了] ボタンをクリックしてください。



- 9 コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



▲ 注意

インストール後に「コントロールパネル」の「システム」のデバイスマネージャ上で「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」に「!」マークが表示されたり正常に動作しない場合は第6章の診断プログラムを実行してください。

2. インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

1. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
2. [システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されるか確認してください。



ネットワークアダプタの下に「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第3章 3. ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから「第3章 1 Windows 98へのインストール」の手順で再度インストールしてください。



3. 「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」を選択して [プロパティ] ボタンをクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



4. [リソース]タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。また、競合するデバイスが「競合なし」になっていることを確認してください。



3. ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックすると「FW-100TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されるのでこれを選択し[削除] ボタンをクリックしてください。



表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の[+]マークをクリックしたときに「PCI Ethernet Controller」が「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示される場合はこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。



2. 削除の確認のウィンドウが表示されるので[はい]ボタンをクリックしてください。



3. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

4. 通信速度の設定

本製品の通信速度は初期設定では、Autonegotiationに設定されています。この設定では、通信速度および通信モードをAutonegotiation機能により自動認識します。通信速度を変更したい場合は以下の手順で設定を行ってください。

1. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックしそこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
2. [ネットワーク]アイコンをダブルクリックしてください。
3. [PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter]を選択し[プロパティ]ボタンをクリックしてください。

4. [詳細設定] タブをクリックしてください。



5. プロパティから「Link Speed/Duplex Mode」を選択し「値」を設定してください。以下の設定が可能です。

Auto Mode Autonegotiation機能により通信速度(100BASE-TX/10BASE-T)および通信モード(全二重/半二重)が自動認識されます。

10 Half Mode 通信速度が10BASE-T/半二重に固定となります。

10 Full Mode 通信速度が10BASE-T/全二重に固定となります。

100 Half Mode 通信速度が100BASE-TX/半二重に固定となります。

100 Full Mode 通信速度が100BASE-TX/全二重に固定となります。

6. [OK] ボタンをクリックしてください。

7. もう一度[OK] ボタンをクリックしてください。コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

Windows Meへのインストール

本章では、本製品をWindows Meで使用する場合の設定方法について説明します。

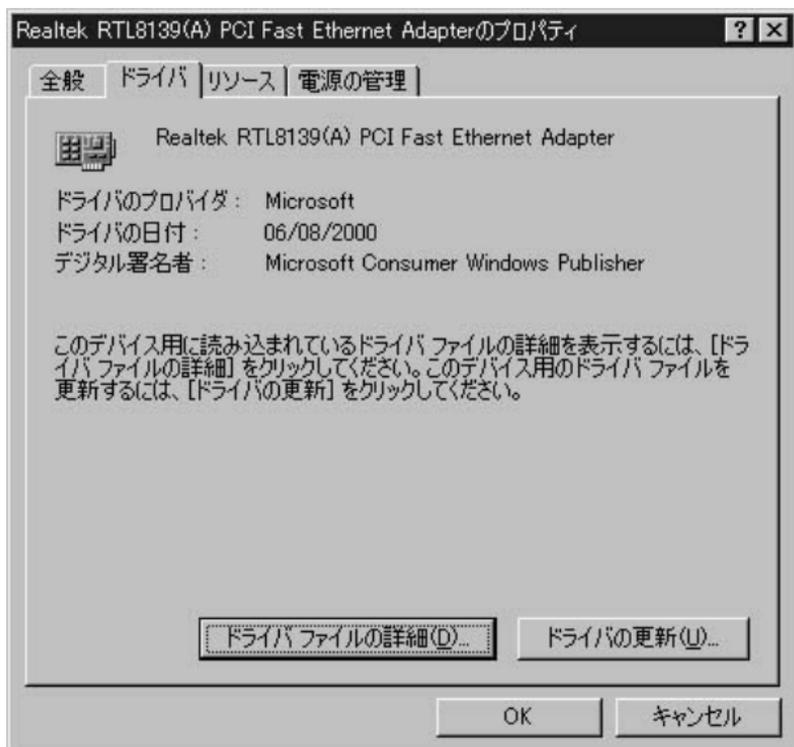
1. ドライバのインストール

1. コンピュータのPCIスロットに本製品をセットし、コンピュータの電源を入れてください。
2. Windows Me起動時に本製品が自動的に認識され、Windows Me標準ドライバが自動的にインストールされます。
3. コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。
4. コンピュータの再起動後、[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル] をダブルクリックしてください。

5. [システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「Realtek RTL8139(A) Fast Ethernet Adapter」が表示されるか確認してください。



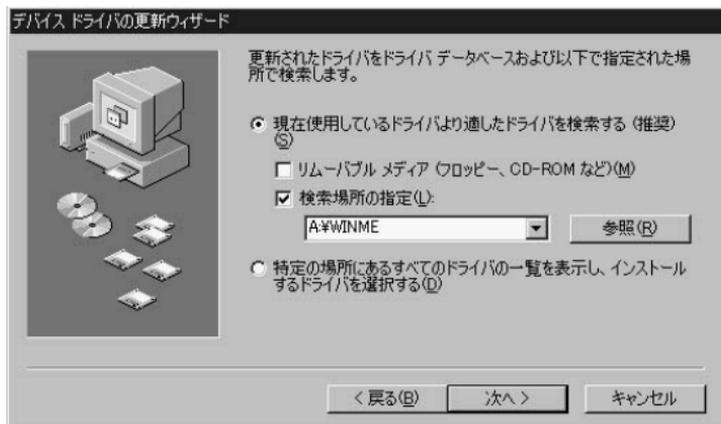
6. 「RealTek RTL8139(A) Fast Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください。「RealTek RTL8139(A) Fast Ethernet Adapterのプロパティ」が開きますので、「ドライバ」タブをクリックして下さい。



7. 「ドライバの更新」ボタンをクリックして下さい。「ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが開きます。「ドライバの場所を指定する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックして下さい。



8. 「現在使用しているドライバより適したドライバを検索する」にチェックを入れ、「検索場所の指定」のみにチェックを入れ、他のチェックは外して下さい。本製品付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、A: ¥WINME(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)と入力して「次へ」ボタンをクリックして下さい。



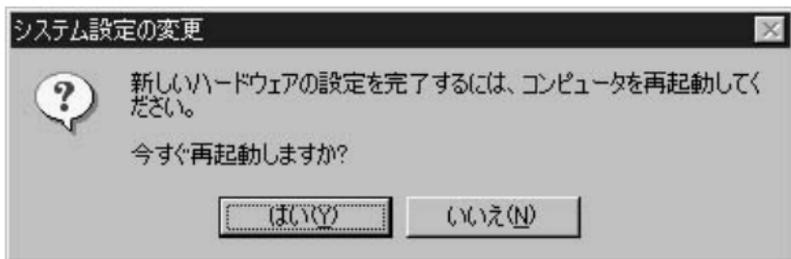
9. 検索が終了したら、「ドライバのある場所」が「A: ¥WINME ¥NETRTS5.INF」になっている事を確認して、「次へ」ボタンをクリックして下さい。ドライバのインストールが始まります。インストール中に「NETRTS5.INF」「RTL8139.SYS」が要求される場合は、ディレクトリ名を A:¥WINME と指定してください。



10. ドライバのインストールが終了したら、「完了」ボタンをクリックして「デバイスドライバの更新ウィザード」を終了してください。



11. コンピュータの再起動の要求メッセージが出る場合は、「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。



2. インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

1. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。

2. [システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されるか確認してください。



ネットワークアダプタの下に「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第4章 3. ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してからコンピュータの電源を一旦落とし、装着しているPCIバススロットを変更してから、「第4章 1. ドライバのインストール」の手順で再度インストールしてください。

3. 「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」を選択して [プロパティ] ボタンをクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



4. [リソース] タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。



3. ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックすると「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されるのでこれを選択し[削除] ボタンをクリックしてください。



表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の[+]マークをクリックしたときに「PCI Ethernet Controller」か「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示される場合はこれを選択し[削除]ボタンをクリックしてください。

2. 削除の確認のウィンドウが表示されるので[OK]ボタンをクリックしてください。



3. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

4. 通信速度の設定

本製品の通信速度は初期設定では、Autonegotiationに設定されています。この設定では、通信速度および通信モードをAutonegotiation機能により自動認識します。通信速度を変更したい場合は以下の手順で設定を行ってください。

1. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックしそこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
2. [ネットワーク]アイコンをダブルクリックしてください。
3. [PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter]を選択し[プロパティ]ボタンをクリックしてください。
4. [詳細設定]タブをクリックしてください。
5. プロパティから「接続の種類」を選択し「値」を設定してください。以下の設定が可能です。

Auto Mode・・・AutoNegotiation機能により通信速度(100BASE-TX/10BASE-T)および通信モード(全二重/半二重)が自動認識されます。

10 Half Mode・・・通信速度が10BASE-T/半二重に固定となります。

10 Full Mode・・・通信速度が10BASE-T/全二重に固定となります。

100 Half Mode・・・通信速度が100BASE-TX/半二重に固定となります。

100 Full Mode・・・通信速度が100BASE-TX/全二重に固定となります。



6. [OK] ボタンをクリックしてください。
7. もう一度 [OK] ボタンをクリックしてください。コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。[はい] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

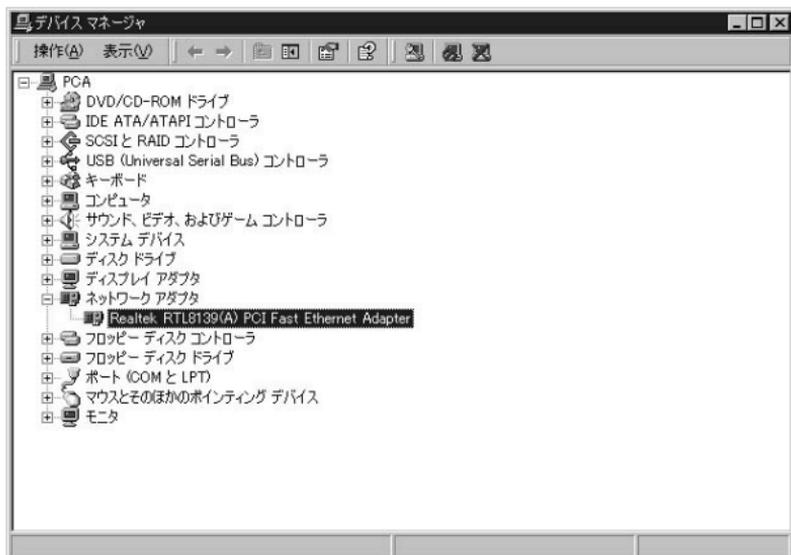
Windows 2000へのインストール

本章では、本製品をWindows 2000で使用する場合の設定方法について説明します。

1. ドライバのインストール

1. コンピュータのPCIスロットに本製品をセットし、コンピュータの電源を入れてください。
2. Windows 2000起動時に本製品が自動的に認識され、Windows 2000標準ドライバが自動的にインストールされます。
3. コンピュータの起動後、[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。

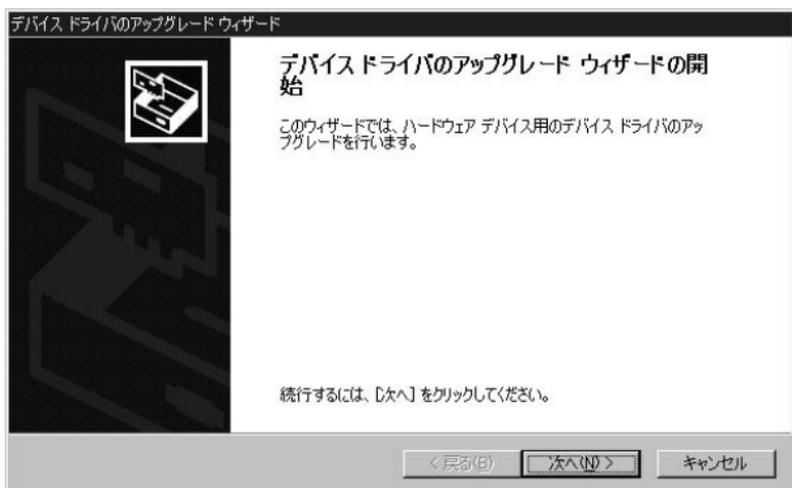
4. [システム] アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「ハードウェア」タブから[デバイスマネージャ] ボタンをクリックしてください。「デバイスマネージャ」ウィンドウが開くのでネットワークアダプタの左の[+] マークをクリックして「RealTek RTL8139(A) Fast Ethernet Adapter」が表示されるか確認してください。



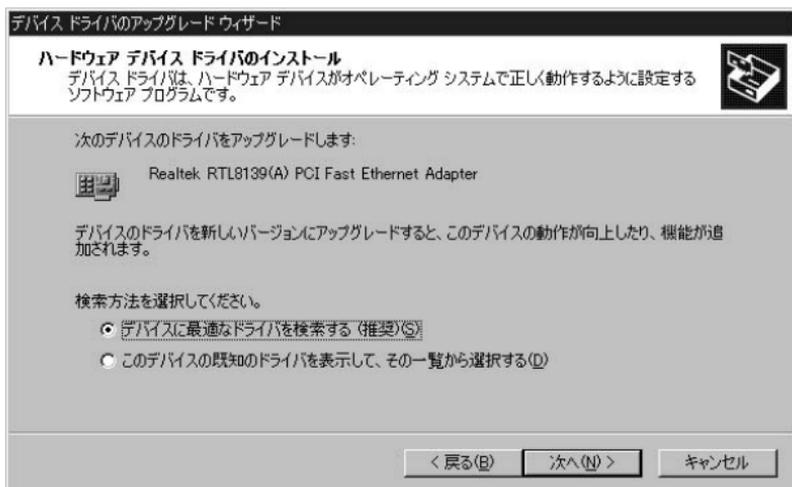
6. 「RealTek RTL8139(A) Fast Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください。「RealTek RTL8139(A) Fast Ethernet Adapterのプロパティ」が開きますので、「ドライバ」タブをクリックして下さい。



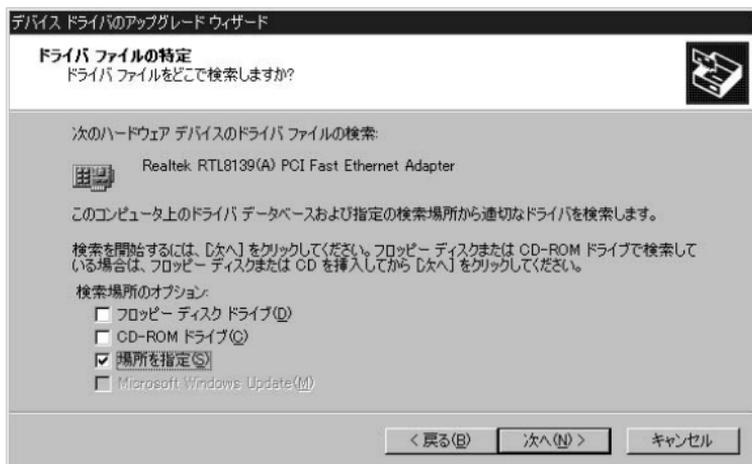
7. 「ドライバの更新」ボタンをクリックして下さい。「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」ウィンドウが開きます。「次へ」ボタンをクリックして下さい。



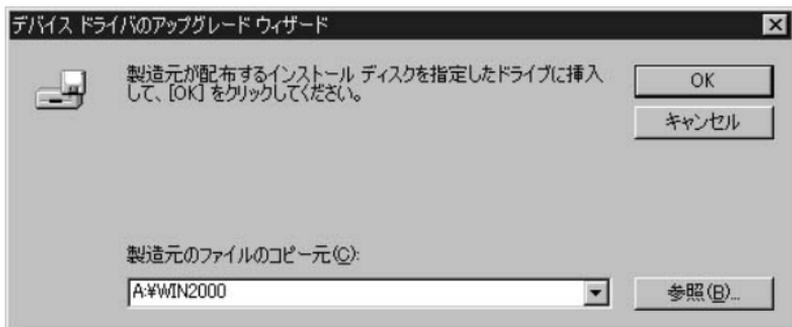
8. 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」ウィンドウが開きます。「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックして下さい。



9. 「ドライバファイルの特定」ウィンドウが開きますので、「場所を指定」のみにチェックを入れ、他のチェックは外して下さい。本製品付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、「次へ」ボタンをクリックして下さい。



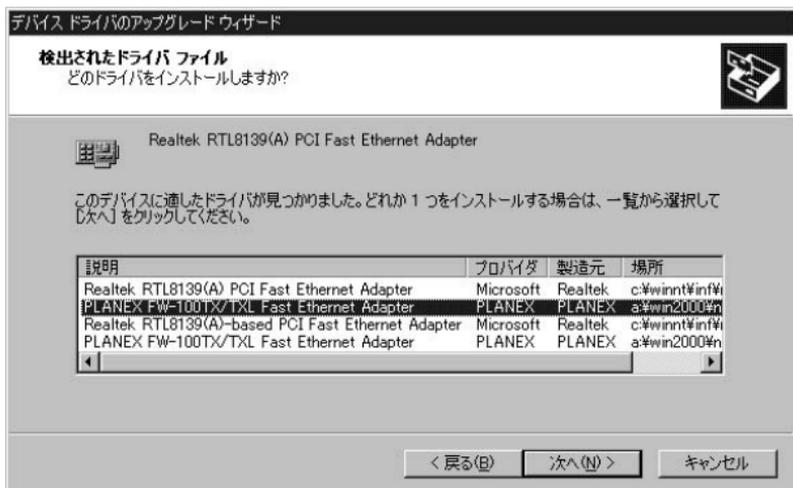
10. 検索場所を指定するウィンドウが開きますので、「製造元のファイルのコピー元」に A:¥WIN2000(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合) と入力して「OK」ボタンをクリックして下さい。



11. 「ドライバファイルの検索」ウィンドウが開きますので、「別のドライバを1つインストールする」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックして下さい。



12. 「検出されたドライバファイル」ウィンドウが開きますので、「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。ドライバのインストールが始まります。



13. 「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されますので、「はい」をクリックして下さい。



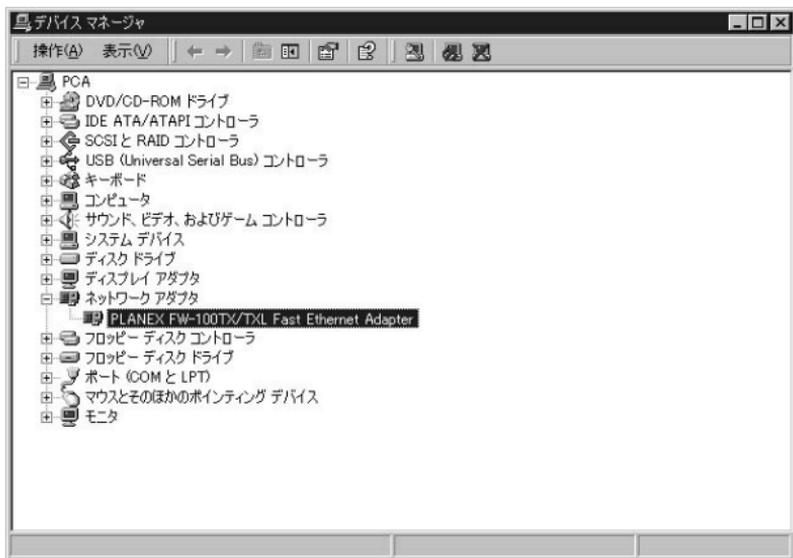
14. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」ウィンドウが開きますので、「完了」をクリックします。



2. インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら以下の手順でインストールが正常に終了したかを確認してください。

1. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
2. [システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックしてください。[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されるか確認してください。



ネットワークアダプタの下に「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。「第5章 3.ドライバの削除方法」の手順でドライバを一旦削除してから「第5章 1.ドライバのインストール」の手順で再度インストールしてください。

- 「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」を選択して [操作] ボタンをクリックし、[プロパティ] をクリックしてください。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



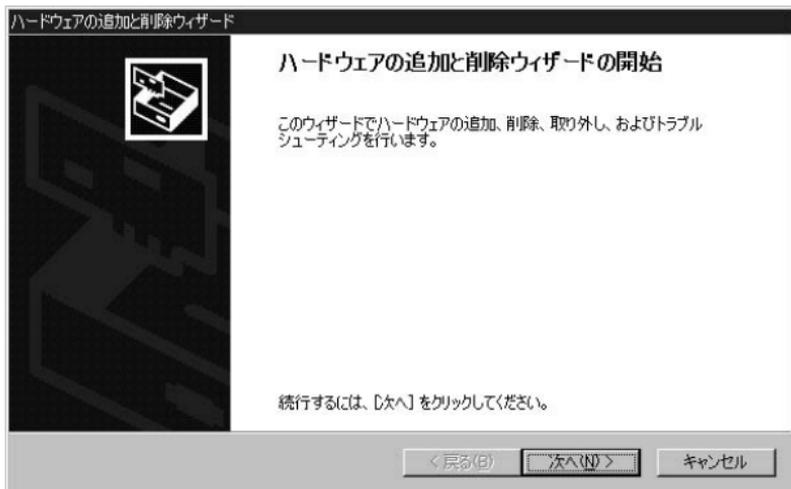
4. [リソース]タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。



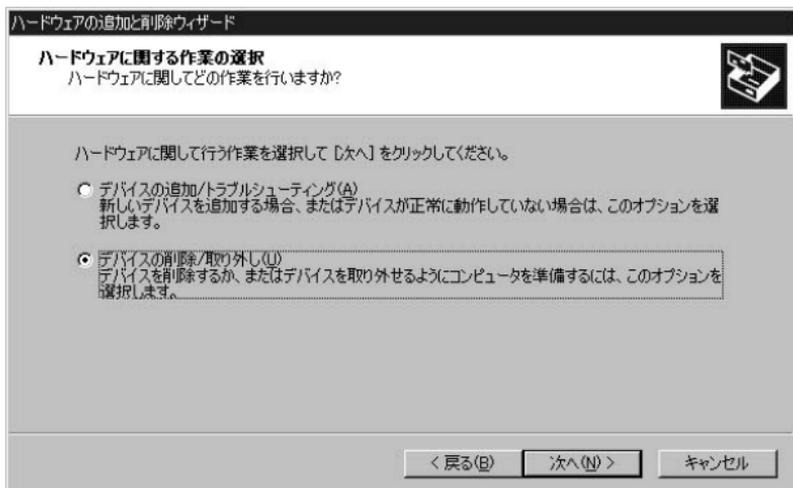
3. ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

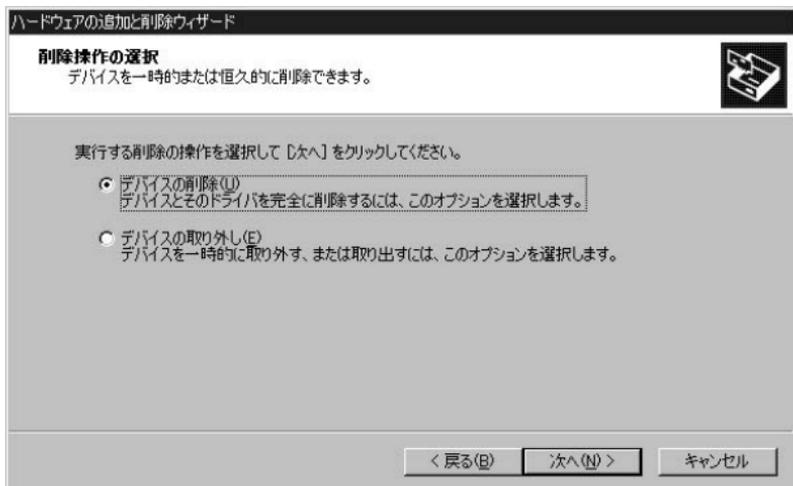
- 1.[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
- 2.[システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックしてください。「ハードウェアウィザード」ボタンをクリックして下さい。
- 3.「ハードウェアの追加と削除の開始」ウィンドウが開きますので、「次へ」ボタンをクリックします。



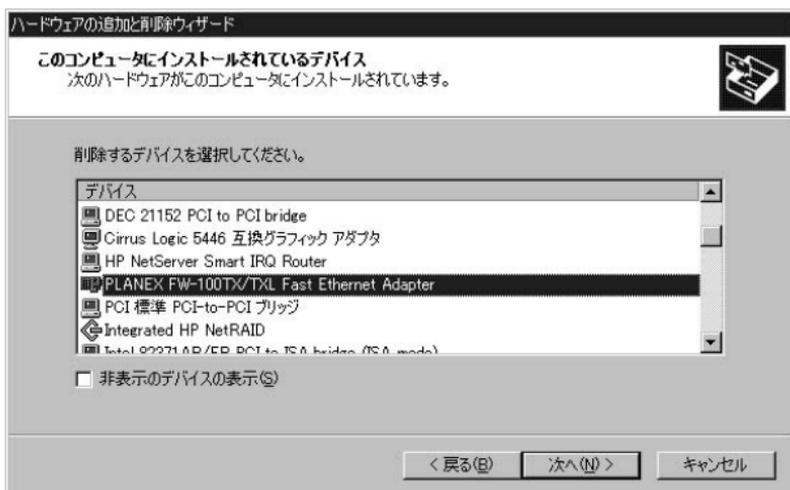
4. 「ハードウェアに関する作業の選択」ウィンドウが開きますので、「デバイスの削除/取り外し」にチェックを入れ「次へ」ボタンをクリックしてください。



5. 「削除作業の選択」ウィンドウが開きますので、「デバイスの削除」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックして下さい。



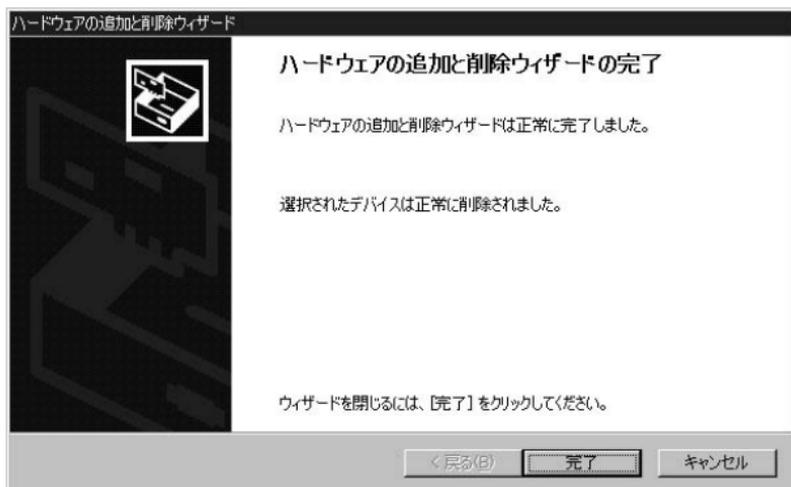
6. 「削除するデバイスを選択してください」と表示されますので、「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」を選択して、[次へ] ボタンをクリックして下さい。



7. 「デバイスの削除」ウィンドウが開きますので、「はい、このデバイスを削除します」にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックして下さい。



8. 「選択されたデバイスは正常に削除されました」と表示されますので、[完了]ボタンをクリックして「ハードウェアの追加と削除ウィザード」を終了します。

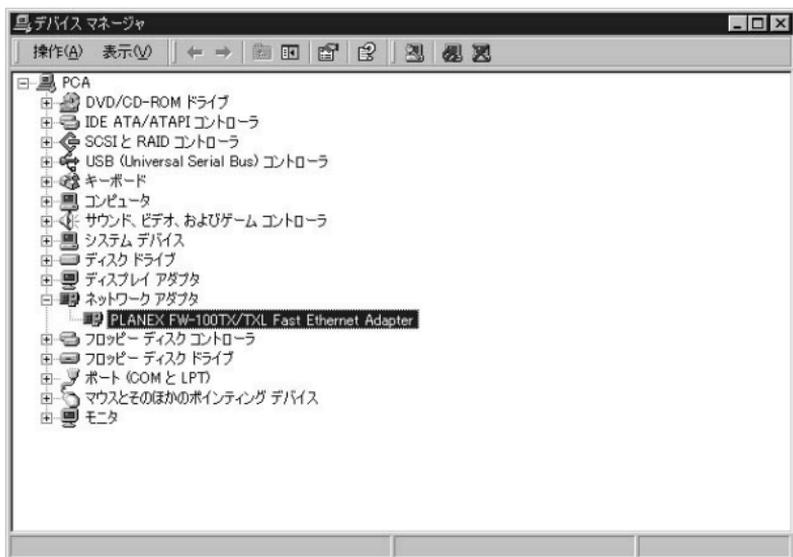


9. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

4. 通信速度の設定

本製品の通信速度は初期設定では、Autonegotiationに設定されています。この設定では、通信速度および通信モードをAutonegotiation機能により自動認識します。通信速度を変更したい場合は以下の手順で設定を行ってください。

- 1.[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、そこから[コントロールパネル]をダブルクリックしてください。
- 2.[システム]アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックしてください。[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の[+]マークをクリックして「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter」が表示されるか確認してください。



3. [PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapter]をダブルクリックしてください。「PLANEX FW-100TX/TXL Fast Ethernet Adapterのプロパティ」ウィンドウが開きますので、「詳細設定」タブをクリックして下さい。
4. プロパティから「Link Speed/Duplex Mode」を選択し「値」を設定してください。以下の設定が可能です。

Auto Mode …… Autonegotiation機能により通信速度(100BASE-TX/10BASE-T)および通信モード(全二重/半二重)が自動認識されます。

10 Half Mode …… 通信速度が10BASE-T/半二重に固定となります。

10 Full Mode …… 通信速度が10BASE-T/全二重に固定となります。

100 Half Mode …… 通信速度が100BASE-TX/半二重に固定となります。

100 Full Mode …… 通信速度が100BASE-TX/全二重に固定となります。



5. [OK]ボタンをクリックしてください。通信速度が変更されます。

診断ユーティリティ

本 製品のドライバ・ディスクには診断ユーティリティが含まれます。このユーティリティは以下の機能を提供します。診断ユーティリティーの使用には新しい2HDのフロッピーディスクが必要になります。

アダプタの基本的機能の診断。

他のアダプタとのネットワークを介しての通信の診断を行います。

⚠ 注意

診断ユーティリティはWindows 95/98/MeやWindows NT/2000のDOSプロンプトでは正常に動作しません。必ずWindows 95//Me98上でフォーマット済みのシステムファイルをコピーしたフロッピーディスクから起動して実行してください。

1. 診断ユーティリティー実行の準備

この作業はWindows 95もしくはWindows 98上で行ってください。

1. ドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、ディスクの中のファイルを任意のハードディスク上のフォルダ(例 C:¥TEMP)にすべてコピーしてください。
2. 新しい2HDフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてください。
3. [マイコンピュータ]の[3.5インチFD(A:)]を右クリックしてください。

- 4.メニューの中から、[フォーマット(M)] をクリックしてください。
[通常のフォーマット(F)] を選択して、[システムファイルのコピー(Y)] にチェックを入れ [開始(S)] をクリックしてください。



- 5.フォーマットが終了したら、[閉じる] をクリックしてください。
6.コンピュータを再起動し、フロッピーディスクから起動してください。

2. 診断ユーティリティの実行

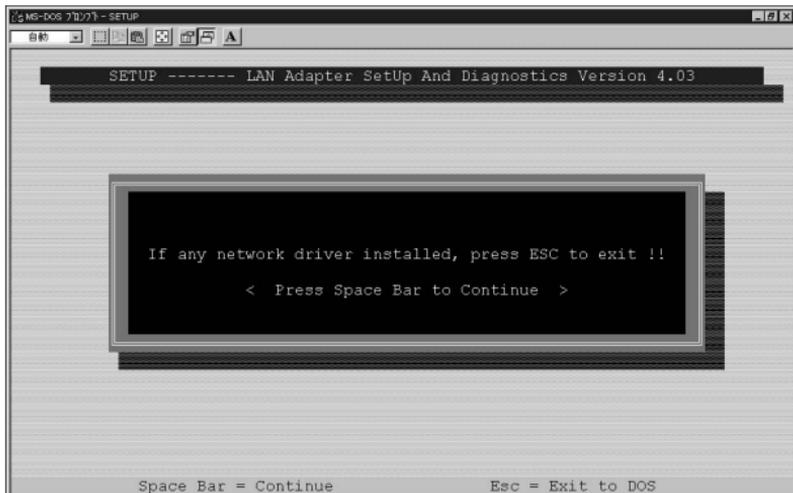
1. コンピュータが起動したら、ドライバディスクをコピーしたフォルダに移動してください。

```
c : ¥[ Enter ]  
cd temp[ Enter ]
```

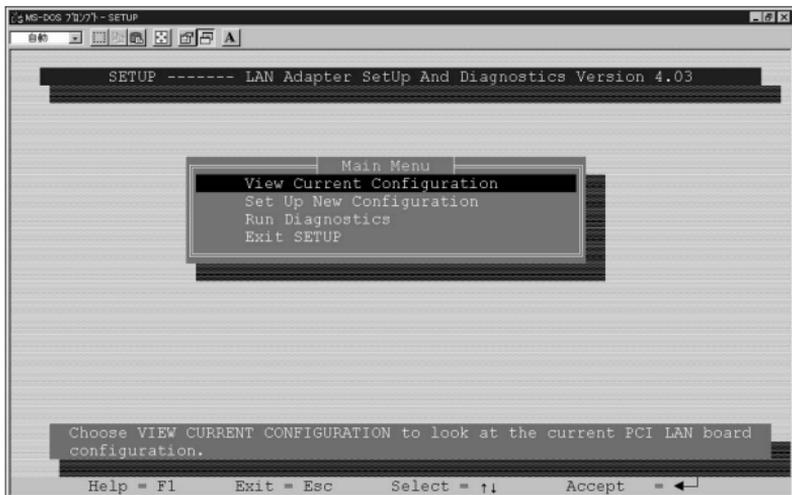
2. 以下のコマンドを実行してください。

```
setup[ Enter ]
```

3. 診断ユーティリティが起動します。[Enter]キーを押してください。



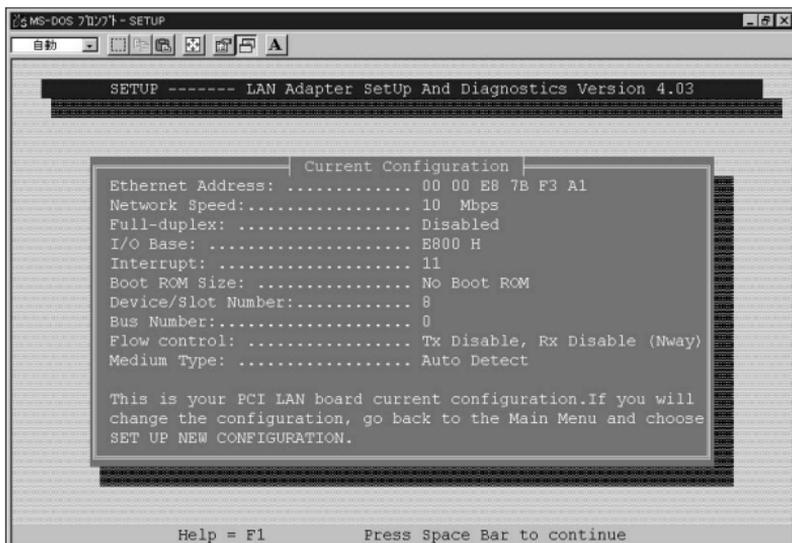
コンピュータに複数の本製品をインストールしている場合はここで診断を行うアダプタを選択してください。コンピュータに1枚しか本製品をインストールしていない場合はそのまま[Enter]キーを押してください。メインメニューが表示されます。



メインメニューで選択可能なオプションについて以下に説明します。

2-a. View Current Configuration (現在の構成の表示)

このオプションでアダプタの現在の構成の表示を行います。以下の項目があります。



Ethernet Address (MACアドレス)

Network Speed (通信速度)

Full Duplex (全二重通信)

I/O Base (I/O アドレス)

Interrupt (割り込み要求番号)

Boot ROM Size (BootROMの有無)

Device/Slot Number (デバイス/スロット番号)

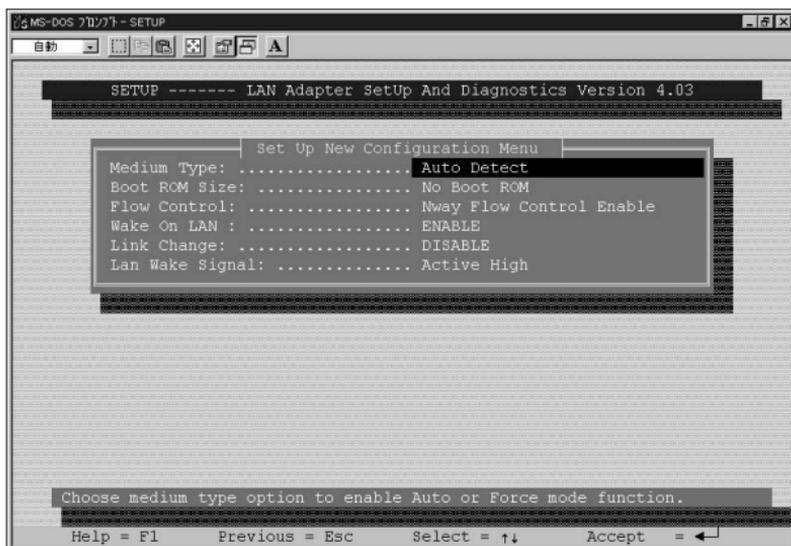
Bus Number (バス番号)

Flow Control (フローコントロールの設定)

Medium Type (通信速度)

2-b. Setup New Configuration Menu (アダプタの構成)

このオプションでアダプターの構成を変更することが可能です。次の項目が変更可能です。



Medium Type

Auto Detect ... 100Base-TX/10Base-T自動検出

100Full ... 100Base-TX Full Duplex

100Half ... 100Base-TX Half Duplex

10Full ... 10 Base-T Full Duplex

10Half ... 10 Base-T Half Duplex

Boot ROM Size (Boot ROM 設定)

Boot ROM Enable ... Boot ROM 有効

Boot ROM Disable ... Boot ROM 無効

Flow Control

Tx Disable , Rx Disable ... 送信、受信 無効

Tx Enable , Rx Disable ... 送信 有効、受信 無効

Tx Disable , Rx Enable ... 送信 無効、受信 有効

Tx Enable , Rx Enable ... 送信、受信 有効

Nway Flow Control Enable ... Nway Flow Control 有効

Nway Flow Control Disable ... Nway Flow Control 無効

Wake On LAN

Disable ... Wake On LAN 無効

Enable ... Wake On LAN 有効

Link Change

Disable ... Link Change 無効

Enable ... Link Change 有効

LAN Wake Signal

Active High

Active Low

Positive Pulse

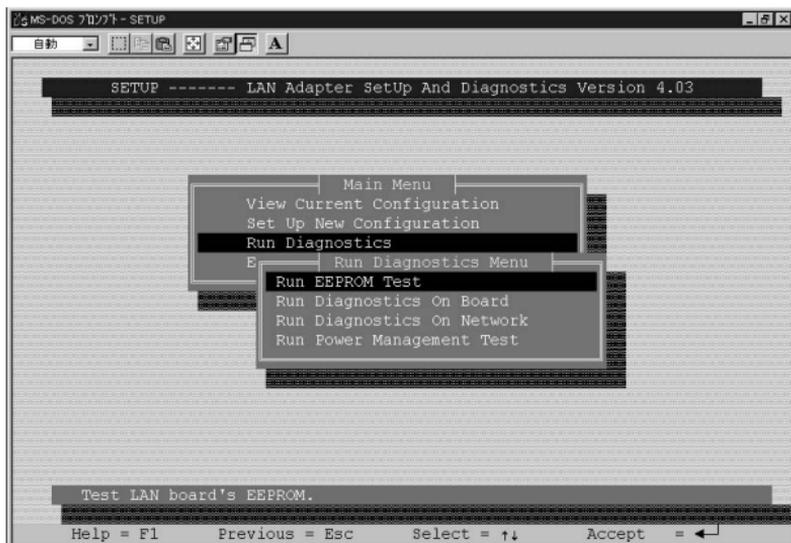
Negative Pulse

上記設定を変更する場合はマザーボード側のWOLの設定値とアダプタ側のWOLの設定値を同じにする必要があります。

2-c. Run Diagnostics (機能の診断)

このオプションでアダプタの基本的な機能を診断することが可能です。

診断には次の項目があります。



Run EEPROM Test (EEPROM の診断)

このオプションでアダプタの EEPROM 診断を行います。

Run Diagnostics On Board (ボード診断)

このオプションでボードの以下の項目について診断を行います。

- A. I/O Register
- B. Loopback Test
- C. Cable Connection

診断結果が正常な場合はPass Countがカウントされます。診断結果が不良な場合はFail Countがカウントされます。

注意

コネクタにケーブルが接続されていない状態で診断を行った場合、*Cable Connection*の項目は必ずFail(失敗)になります。*Cable Connection*がFailになる場合はケーブル接続を確認してください。

Run Diagnostics On Network (ネットワーク診断)

このオプションで、ネットワークを介してのアダプタの通信機能の診断を行います。

このオプションを実行するには、ネットワーク上に本製品をインストールしたコンピュータが2台必要です。1台をInitiatorに、もう一台をResponderに設定してください。

Run Power management Test (リモート機能の診断)

このオプションでWake On LAN、Magic Packetの診断を行います。

このオプションを実行するには、ネットワーク上に本製品をインストールしたコンピュータが2台必要です。1台をMasterに、もう一台をTargetに設定してください。

トラブルシューティング

本章では、アダプタのインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

アダプタを取り付けてコンピュータを立ち上げたが、アダプタが検出されない。

デバイスマネージャの「その他のデバイス」の中に「PCI Ethernet Controller」が入っていないか確認してください。入っている場合は削除してからコンピュータを再起動してください。

Windowsのデバイスマネージャでアダプタに「！」マークが表示される。

リソースの競合の可能性があります。デバイスマネージャからアダプタのプロパティを開き、[リソース]タブを開きます。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。また、取り付けているスロットを変更した場合に競合が解消される場合もありますので、取り付けるスロットを変えてみてください。

ドライバがのインストールが正常に終了していない可能性があります。

一旦、デバイスを削除してからコンピュータを再起動して、ドライバをインストールしなおしてください。

ドライバが正常にインストールされ、ネットワークケーブルを接続してもLINK/ACT LEDが点灯しない。

ネットワークケーブルが接触不良の可能性があります。ネットワークケーブルの両端がそれぞれのポートにしっかり接続されているか確認してください。

ネットワークケーブルの種類を確認してください。100BASE-TXの通信にはカテゴリ5以上のケーブルが必要です。また、コンピュータとハブを接続する場合はストレートケーブルを使用します。コンピュータとコンピュータを直接接続する場合はクロスケーブルを使用します。

ケーブルの結線不良の可能性があります。他のネットワークに正常に接続できている機器とケーブルを交換し、ケーブルの不良でないか確認してください。

通信速度の設定が同じでない可能性があります。アダプタの通信速度の設定と接続機器の通信速度が同じか確認してください。

AutoNegotiationに対応した機器同士の場合は適切な速度でリンクしますが、稀に正常にリンクしない場合があります。その場合は、お互いの通信速度の設定を同じ設定に固定してみてください。

ドライバが正常にインストールされ、LINK/ACT LEDも点灯しているがネットワークコンピュータを開いてもコンピュータの一覧が表示されない。

Windowsの起動時に正常にログインしているか確認してください。ログインするときにユーザー名とパスワードを正確に入力してください。

通信しようとしているコンピュータと同じ通信プロトコルを使用しているか、確認してください。ネットワークのプロパティからインストールされているプロトコルを確認してください。

ネットワークのプロパティを開いて「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストールしてください。

ドライバが正常にインストールされ、LINK/ACT LEDも点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

TCP/IPプロトコルがインストールされているか確認してください。インターネットへのアクセスにはTCP/IPプロトコルが必要です。ネットワークのプロパティを開いて、インストールされていない場合はインストールしてください。

IPアドレスが正しく設定されているか確認してください。IPアドレスの設定が間違えていると通信できません。

IPアドレスが自動取得の場合はアドレスが正常に取得できているか、確認してください。スタートメニューからファイル名を指定して実行を選択して、winipcfg と入力して [OK] をクリックしてください。現在のIPが表示されます。ネットワーク管理者に取得しているIPアドレスに問題ないか確認してください。

DNS (ドメイン・ネーム・サーバー) 及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。TCP/IPのプロパティを開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

アダプターをインストールするとWindowsの起動が遅くなる。

IPアドレスを自動取得する設定になっており、ネットワーク上にDHCPサーバが存在しない場合に発生する事があります。TCP/IPプロトコルでネットワークを構成されていない環境でしたら、ネットワークのプロパティからTCP/IPを削除していただくか、もしくは適当なIPアドレスを設定してください。

アダプターのインストール後、Windowsの起動時に文字化けのようなメッセージが表示されたり、「ファイルが読み込めない」というエラーメッセージが表示される。

ネットワークコンポーネントが正常にインストールされていない可能性があります。ネットワークのプロパティから「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」を一旦削除してから、再度インストールしてください。

ネットワーク設定

本章では、Windows 95/98/Me環境でNetBEUI(ネットビューイ)、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してピアツーピア接続をする場合のネットワーク設定について説明します。最初に本製品のシステムへのインストールが完了している事を確認し、本製品のRJ-45ポートとハブをツイストペア・ストレートケーブルで接続してください。

1. Windows 95/98/Meでのネットワーク設定

Windows 95/98/Meのネットワークの設定は「コントロールパネル」 「ネットワーク」で行います。「ネットワークの設定」の「現在のネットワークコンポーネント」で、現在のネットワークの設定状況を表しています。左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。



クライアント



アダプタ



プロトコル



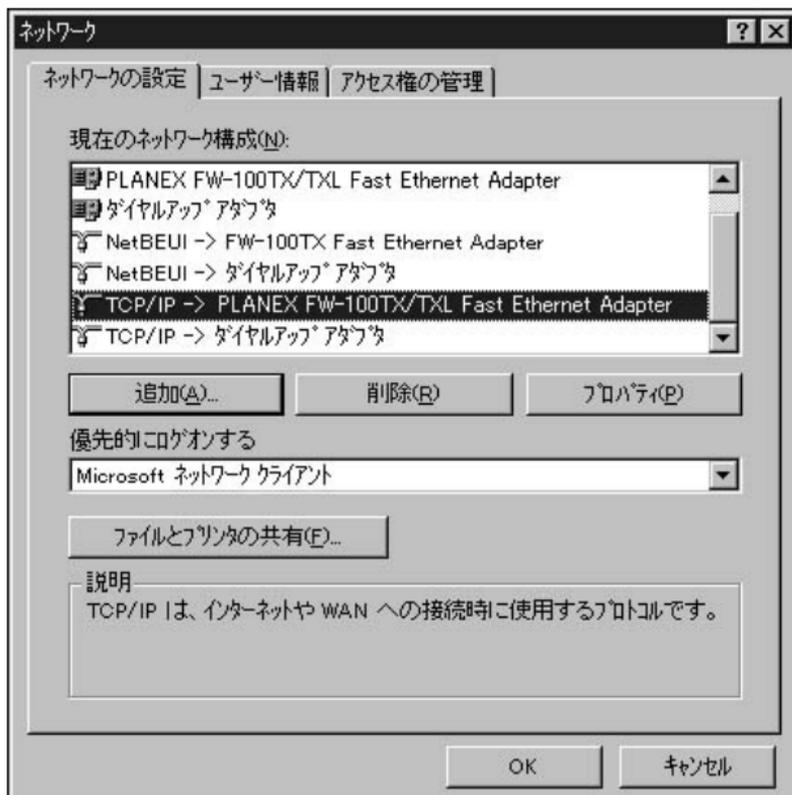
サービス

アダプタが複数存在する場合、それぞれのプロトコルの設定がどのアダプタに対して有効になるのか見分けるため、右側にアダプタの名前が表示されます。これを「バインド先」と言います。アダプタが1つしかない場合はバインド先も1つしかないため右側には何も表示されません。

NetBEUIプロトコルで設定を行う場合は、「付録B 2.NetBEUIを使用したネットワークの設定」から始めてください。

TCP/IPプロトコルで設定を行う場合は、「付録B 3.TCP/IPを使用したネットワークの設定」から始めてください。

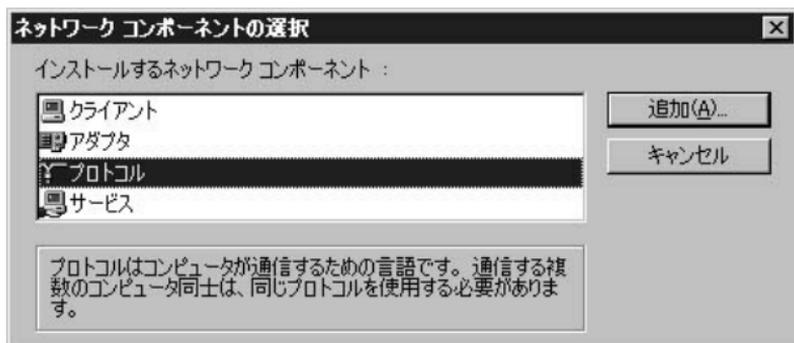
その後、「付録B 4.ユーザー情報の設定」を行うとネットワークに接続ができるようになります。



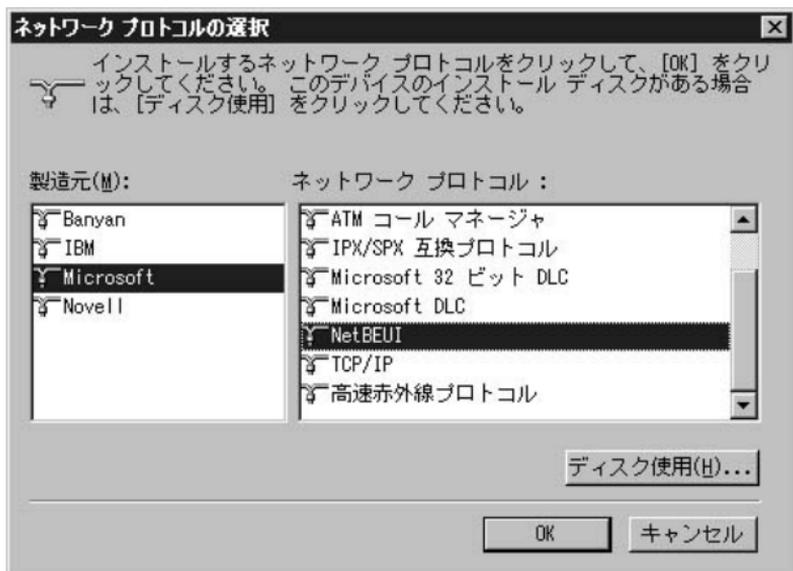
2. NetBEUIを使用したネットワークの設定

「現在のネットワーク構成」の中に「NetBEUIプロトコル」が入っていない場合は、以下の手順でNetBEUIプロトコルを追加してください。

- 1.[追加]ボタンをクリックすると「ネットワーク構成ファイルの追加」ウインドウが開きます。「プロトコル」をクリックして[追加]ボタンをクリックしてください。



2. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」をクリックすると「ネットワークプロトコル」に一覧が表示されます。「NetBEUI」をクリックして[OK]ボタンをクリックしてください。



これでネットワークの構成にNetBEUIプロトコルが追加されます。ネットワークの構成に「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」が入っていない場合、プロトコルのインストールと同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。

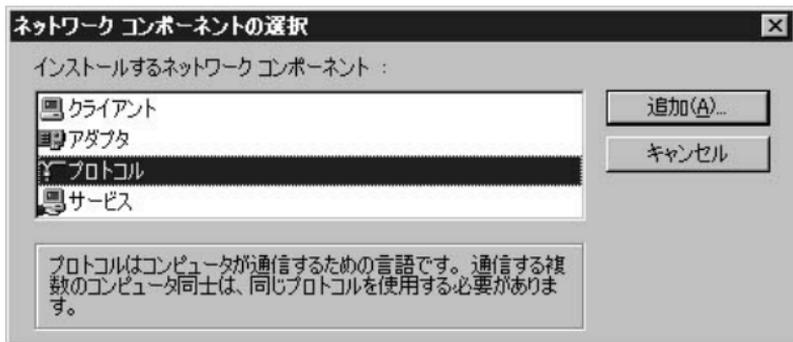
TCP/IPプロトコルを設定しない場合は、「付録C 4.ユーザー情報の設定」へ進んでください。

3. TCP/IPを使用したネットワークの設定

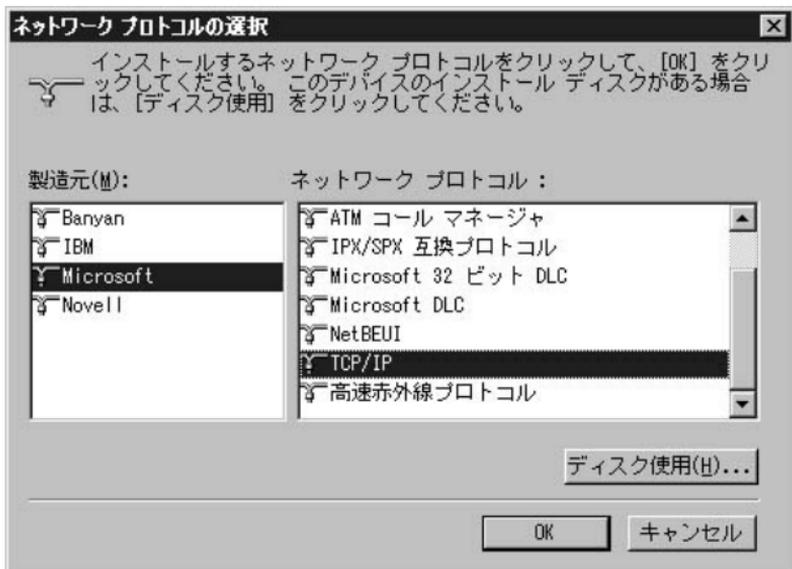
「現在のネットワーク構成」の中に「TCP/IP」が入っていない場合は、以下の手順でTCP/IPプロトコルを追加してください。

TCP/IPプロトコルの追加

- 1.[追加]ボタンをクリックすると「ネットワーク構成ファイルの追加」ウインドウが開きます。「プロトコル」をクリックして[追加]ボタンをクリックしてください。



2. 「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」を選択して「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「TCP/IP」をクリックして[OK]ボタンをクリックしてください。

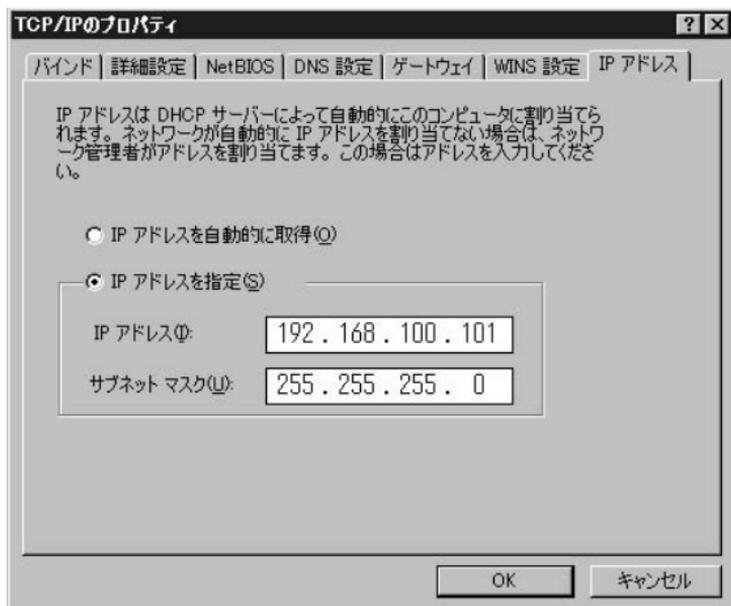


- ネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが追加されます。「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。

IPアドレスの設定

TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ(ネットワークアダプタ)ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。

1. 「TCP/IP FW-100TX Fast Ethernet Adapter」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックしてください。
2. 「IPアドレス」タブを選択して、IPアドレスを設定します。初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得」がチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「IPアドレスを指定」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。
3. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレスとして定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例では、IPアドレスを「192.168.100.101」に「サブネットマスク」を「255.255.255.0」に設定しています。



4.IPアドレスの設定が終わったら[OK]ボタンをクリックし「TCP/IPのプロパティ」を閉じてください。

注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合は、それぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.100.101」だとすると2台目を「192.168.100.102」3台目を「192.168.100.103」4台目を「192.168.100.104」の様に設定してください。またサブネットマスクはネットワーク上で全て同一にする必要があります。ここでは全て「255.255.255.0」に設定してください。

4. ユーザー情報の設定

「付録B 2.NetBEUIを使用したネットワークの設定」または、「付録B 3.TCP/IPを使用したネットワークの設定」の設定が完了したら、ユーザー情報の設定を行います。

ワークグループ名はそのコンピュータが属するネットワークを表し、コンピュータ名はネットワーク上でそのコンピュータの名前を表します。

1. 「識別情報」タブをクリックすると以下のようなウィンドウが表示されます。以下の各項目を入力してください。



The screenshot shows a Windows dialog box titled "ネットワーク" (Network). It has three tabs: "ネットワークの設定" (Network Settings), "識別情報" (Identification Information), and "アクセスの制御" (Access Control). The "識別情報" tab is selected. The dialog contains the following text and fields:

次の情報は、ネットワーク上でコンピュータを識別するために使われます。このコンピュータの名前と所属するワークグループ名、簡単な説明を入力してください。

コンピュータ名 :

ワークグループ :

コンピュータの説明 :

At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

「コンピュータ名」

使用しているコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。

「ワークグループ」

使用しているコンピュータが属するネットワーク名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと、所属するネットワークが異なるために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示する事ができなくなります。ネットワーク上の全てのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。

「コンピュータの説明」

使用しているコンピュータに関する追加情報があれば記述します。特に記述しなくてもかまいません。

2. 「ネットワークの設定」タブをクリックします。「優先的にログオンする」をクリックして「Microsoftネットワーククライアント」を選択します。「Microsoftネットワーククライアント」を選択できない場合は、「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」を追加してください。



3. 全ての設定が終了したら「ネットワーク」のプロパティの[OK]ボタンをクリックします。コンピュータを再起動するか聞いてきますので「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。WindowsのインストールCD-ROMを要求するウインドウが表示される場合は、WindowsインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータアイコンをダブルクリックするとネットワークで接続されている他のコンピュータにアクセスする事ができる様になります。

Linuxへのインストール

ここでは各種Linux環境へのインストール方法について説明します。なお、最新情報につきましては弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp/>)をご確認ください。

本製品はRealtek社のRTL8139Cイーサネットコントローラを搭載しています。多くのLinuxディストリビューションにはrtl8139.o という名前のRTL8139イーサネットコントローラ用ドライバが標準で入っています。このドライバを用いる事で、本製品をLinux上で動作させる事が出来ます。ドライバの組み込み方は各ディストリビューションのドキュメントを参考にして下さい。ここでは一部のディストリビューションでの設定例を紹介します。

1. RedHatLinux 5.2

- 1.RedHatLinux5.2がインストールされている環境に、本製品を組みこむ場合
 - a. コンピュータに本製品を組み込み、RedHatLinux5.2を起動させます。
 - b. 付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れ、マウントします。

```
mount -t msdos /dev/fd0 /mnt/floppy
```

- c. /mnt/floppy/linuxにある、rtl8139.cとtransを適当なディレクトリ(/tmp等)にコピーします。

```
cp /mnt/floppy/linux/rtl8139.c /tmp
cp /mnt/floppy/linux/trans /tmp
```

- d. コピーしたディレクトリに移動し、transのパーミッションを実行許可にし、実行します。

```
cd /tmp
chmod 777 trans
trans
```

- e. /etc/conf.modulesをvi等で編集して " alias eth0 rtl8139 " という一文を加えます。

```
vi /etc/conf.modules
```

- f. X-Windowを起動し、netcfgでIPアドレス等の設定を行います。この時、Activate interface at boot timeをEnableにします。

```
startx
netcfg
```

- g. /etc/rc.d/rcをvi等で編集してinsmod /usr/src/linux/modules/rtl8139.o という一文を加えます。

```
vi /etc/rc.d/rc
```

- h. 再起動後にネットワークが使用出来ます。

2. SlackWare 3.6 の場合

1. SlackWare 3.6 がインストールされている環境に、本製品を組みこむ場合

- コンピュータに本製品を組み込み、SlackWare 3.6 を起動させます。
- 付属のドライバディスクをフロッピードライブに入れ、マウントします。

```
mount -t msdos /dev/fd0 /mnt
```

- /mnt/floppy/linuxにある、rtl8139.cとtransを適当なディレクトリ(/tmp等)にコピーします。

```
cp /mnt/linux/rtl8139.c /tmp
cp /mnt/linux/trans /tmp
```

- コピーしたディレクトリに移動し、transのパーミッションを実行許可にし、実行します。

```
cd /tmp
chmod 777 trans
trans
```

- netconfigを起動し、ご使用の環境に合わせてIPアドレス等を設定します。

```
netconfig
```

- /etc/rc.d/rc.inet1をvi等で編集してinsmod /usr/src/linux/modules/rtl8139.oという一文を加えます。

```
vi /etc/rc.d/rc.inet1
```

- 再起動後にネットワークが使用出来ます。

3. TurboLinux 4.0 の場合

1. 本製品を組みこんだコンピュータに TurboLinux 4.0 をインストールする場合

- a. 通常の手順で、TurboLinux 4.0 をインストールします。
- b. インストール中の「TurboProbe」で、「ハードウェアを自動設定しますか？」で「OK」を選ぶ。
- c. 「TurboProbe結果」で、「rtl8139 (RealTek RTL8129/8139 Fast Ether)」が検出されます。
- d. インストールを進め、「TCP/IP設定」及び「ネットワーク設定」でご使用の環境に合わせた設定をします。
- e. インストールを最後まで行い、再起動後にネットワークが使用出来ます。

2. TurboLinux 4.0 がインストールされている環境に、本製品を組みこむ場合

- a. コンピュータに本製品を組み込み、Turbolinux 4.0 を起動させます。
- b. /etc/conf.modules に、vi 等で下の一文を加えます。

```
alias eth0 rtl8139
```

- c. TurboLinux 4.0 を再起動させます。
- d. 「turbonetcfg」で、ご使用の環境に合わせた設定をします。
- e. 再起動後にネットワークが使用出来ます。

仕様

< 準拠する規格 >

IEEE802.3 10BASE-T, IEEE802.3u 100BASE-TX

< バス・タイプ >

32ビットPCI (バスマスタ)

< 伝送速度 >

10Mbps(Ethernet)

20Mbps(全二重Ethernet)

100Mbps(Fast Ethernet)

200Mbps(全二重Fast Ethernet)

< LEDインディケータ >

LINK/ACT FD

< 消費電力 >

最大1.4W

< 動作温度 >

5 ~ 40

< 動作湿度 >

35 ~ 85%(結露しないこと)

< 外形寸法(奥行x幅) >

12.0 x 3.8 cm

< EMI >

FCCクラスB、CE マーク

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

グリーンマークについて



本製品は、グリーンマーク事業に協賛し、パッケージに再生紙を利用しています。グリーンマーク事業とは、紙のリサイクルを推進することを目的とした事業ですが、併せて環境の緑化も目的としています。パッケージ裏面にあるグリーンマークを、学校あるいは町内会、自治体単位で集め、財団法人古紙再生促進センターに送っていただくと、苗木、またはセンターオリジナルのノートが送られます。詳しくは、財団法人古紙再生促進センター（電話 03-3541-9171）までお問い合わせ下さい。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名	FAST ETHERNET ADAPTE
型番 Product No.	FX-100TX
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。
ブラネックスコミュニケーションズ(株)
サポートセンター フリーダイヤル0120-415977
2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様の負担にてお願いいたします。)
リペアセンター電話番号：03-5963-7432
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

● 弊社の保証規定を必ずご覧ください。 ●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1年間
製品名 Product name	FAST ETHERNET ADAPTE
型番 Product No.	FW-100TX
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
TEL	— — 内線
FAX	— —
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録をおこなって
いただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記Webサイトで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: info-planex@planex.co.jp

No.PMN-01-03-TN-FW100TX

プラネックスコミュニケーションズ株式会社